

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	977	小中学校総合連携推進事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
担当部課名	教育部 学校教育課		項	01	教育総務費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	目	03	義務教育振興費
		22-9676	細目	102	児童生徒指導経費
			細々目	20	小中学校総合連携推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	島ヶ原小中学校児童生徒	小学校と中学校が連携を深め、安心して学習に取り組める教育環境を整えることで、学力が定着し、向上します。		
本年度事業内容	1. 小中学校合同の学校教育活動(行事等) 2. 小中学校教職員の交流			
開始年度	平成 17 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.16	0.14	0.14
	人件費合計(A)	1,152	1,008	1,008
②支出内訳(千円)	事業費(B)	800	800	800
	委託料	800	800	800
	その他			
	合計(A+B)	1,952	1,808	1,808
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	800	800	800
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	1,152	1,008	1,008	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
小中合同行事回数	回	3	5	5			
教職員の交流人数	人	5	5	5			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
合同教育活動の開催回数	小中学校が合同で、授業をしたり、学校行事等を行うことで、小学校から中学校へスムーズな移行が進められます。そこで、こうした機会を指標としました。	回	3 目標 (9)	9	12
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

島ヶ原小中学校は、校舎自体が一体となった建物であるため、児童生徒や教職員が移動することは容易に行えます。また、小中学校とも各学年1クラスという規模でもあるため、教育課程についても小中学校9年間を見通した編成をすることで、小規模校のデメリットを解消することにつながっています。今後は、小中学校が連携することによって充実する行事や取り組みを増やし、その成果を県内に発信していきたいと考えています。

評価	必要性	4	こうした小中学校9年間の取り組みにおける成果と課題を、市内はもとより県内各地へどのように発信していくかが、今後の課題となっています。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		